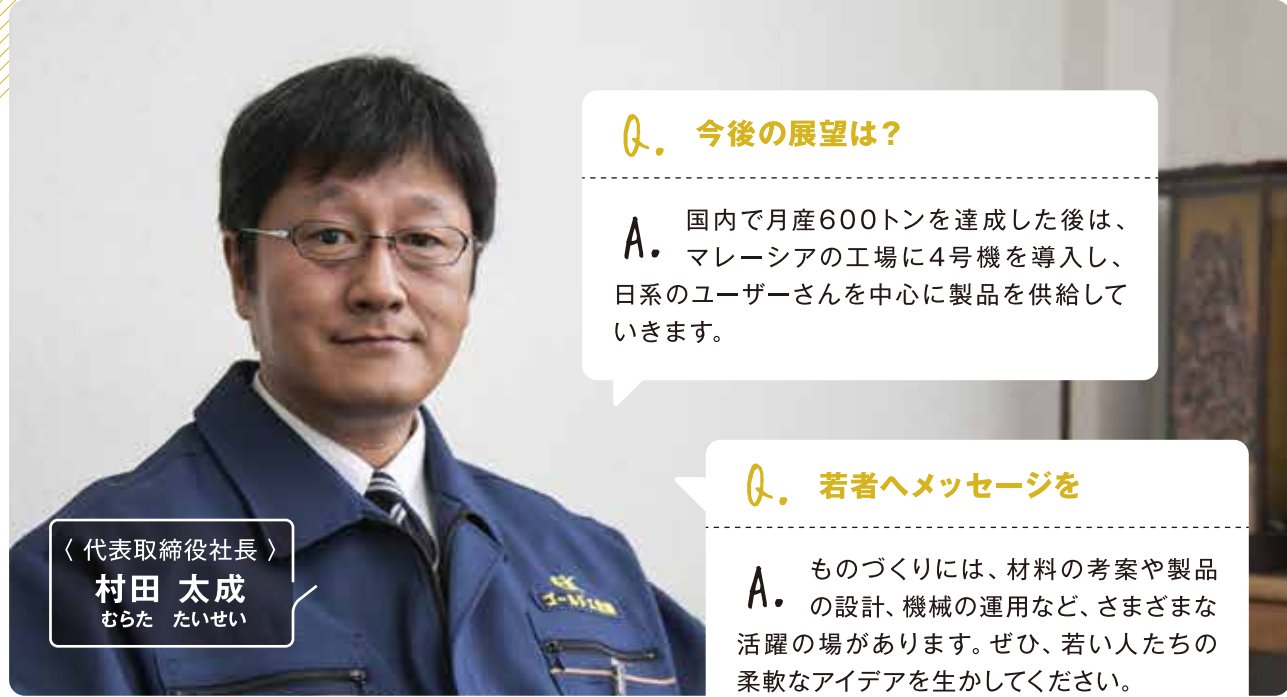




〈代表取締役社長〉
村田 太成
むらた たいせい

Q. 今後の展望は？

A. 国内で月産600トンを達成した後は、マレーシアの工場に4号機を導入し、日系のユーザーさんを中心に製品を供給していきます。

Q. 若者へメッセージを

A. ものづくりには、材料の考案や製品の設計、機械の運用など、さまざまな活躍の場があります。ぜひ、若い人たちの柔軟なアイデアを生かしてください。

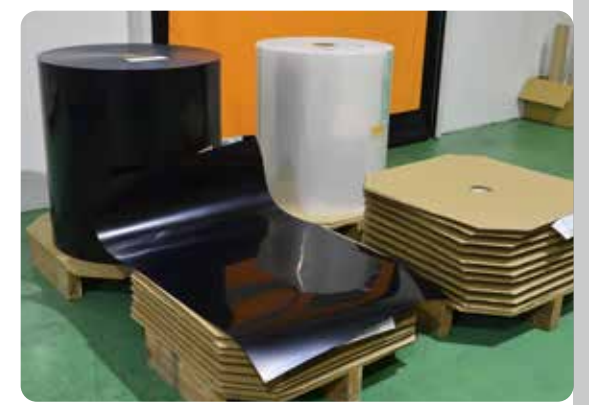
影になる部分

導電性シートの原料となるペレット。同社が開発したこのペレットを使うとカーボンダストがほとんど発生しません（特許出願中）。

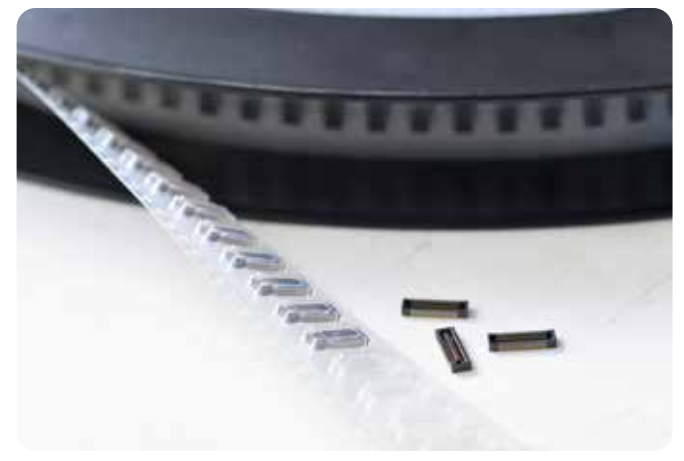


シート押出成形機によって製造されたシート。黒い方がカーボンが練り込まれた導電性のシート。

新しい成形機には計8台のカメラが備え付けられており、自動検査が行われます。



22 case
半導体デバイス・電子部品の包装資材の開発
及びプラスチック製品の開発製造販売
ゴールド工業 株式会社
〒889-4234
宮崎県えびの市大字永山712番地1
TEL 0984-35-3636



精密機器の電子部品を梱包したエンボスキャリアテープ

ゴールド工業 株式会社

顧客の要望に応える 新開発の導電性シート ラインの増設で量産へ

画期的な導電性シートを開発したものの、設備の生産力不足から思うような供給ができなかった同社。3倍近い生産スピードの設備を導入し、量産体制を確立させました。



新設備導入で生産力が格段に向上
生まれた余力で
さらなる製品開発へ

え びのインターチェンジのすぐそばにあるゴールド工業株式会社。九州の量産工場として1995年に設立され、電子デバイスの自動実装用資材であるキャリアリール及びキャリアシートを主に製造しています。電子デバイスの中でも半導体デバイスの運搬には、静電気の発生を抑制するために、導電性を付与したタイプのものが用いられます。導電性を付与するには素材にカーボンを練り込む必要があるのですが、このカーボンがダストとなつて脱着しやすく、半導体に付着すると実装不良を起こしてしまうのです。同社はこの問題を解決するために、カーボンダストの発生が極めて少ない導電性キャリアシートの開発に成功。この画期的なキャリア

こ の問題を解決すべく導入したのが『シート押出成形機』の2号機です。「既存の1号機は月産能力が80トンなのですが、新しい2号機は230トンですからその能力は桁違いです。2号機を導入し、生産力が格段に向上したことで、顧客からの注文に余裕を持つて対応し、さらに、新製品の開発を加速させることができるようになりました」今後、さらに3号機を導入して、国内月産600トンを目指すという同社。その先には、海外でのシート生産も計画しています。

ものづくり補助金活用 ココ がポイント!



導電性シート専用ラインで
段取り替えが不要に

カーボンを練り込んだ導電性のシートをラインに流した後、透明なシートを流すには機械を分解して清掃するなど、工程変更のために多くの段取り替えが必要でした。2号機を導入したことで工程変更回数が減少し、導入前300%増しの生産力が実現しました。

point!